

積水ハウス(株)  
札幌支店 支店長

宍戸 智大

Tomohiro Shishido

TKC北海道会の皆さま、新年あけましておめでとございます。

改めまして、昨年8月より積水ハウス株式会社札幌支店の支店長として、着任いたしました宍戸智大と申します。

旧年中は大変お世話になりました。

昨年の10月3日には、「第44回TKC札幌東西支部対抗ゴルフ協議会および企業防衛大同会ゴルフコンペ」に初参加させていただきました。当日は雨が降る天気ではありましたが、同じパーティーで一緒した、本間貴久先生、佐々木雅敏先生、澤田忠宏先生が大変楽しい先生方で、雨も吹き飛ばす一日となりました。改めてゴルフコンペの場で、北海道会の皆さまとお会いする機会があると思いますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、積水ハウスでは、去る12月15日に、業務協定30周年および累積受注実績2兆円達成を記念して謝恩会を開催する運びとなっております。コロナ禍という事もあり、全国8会場をモニターでつなぐ同時開催とし、北海道会は東京の明治記念館での参加予定で、全国会副会長の加藤恵一郎先生をはじめ、北海道会会長の田中裕之先生、副会長の岩本敏美先生、資産活用委員長の佐藤伸泰先生にご参加たまわる運びとなっておりますが、昨今のコロナの猛拡大を受け、株式会社TKCの角一幸会長と弊社会長の阿部が苦渋の決断で、延期の判断いたしました。この

記念すべき30周年の謝恩会がコロナの猛威により、一旦延期となった事に関しては甚だ遺憾ではありますが、累積受注2兆円達成につきましては、ひとえに今までの先生方のご努力の賜物であると、改めて深く感謝申し上げます。

話は変わりますが、北海道は約2年半前に胆振東部地震が発生し、札幌市内でも、損壊以上の家屋が5231棟におよびました。一方で、今年度の耐震に関する全国意識調査において、北海道の耐震意識ランキングは47都道府県で38位となっております。「現在の住居は地震に強いと思うか?」の問いで「はい」と答えた割合は、わずか21.2%で43位でした。積水ハウスは未来責任があると考えておりますので、改めて「地震や災害に強い家づくり」でのフレーミングに取り組んでおります。コロナ禍の中で、さまざまな大災害が発生した場合でも、自宅で安心した生活を続けられる「在宅避難」が、キーワードです。「仮に大きな地震が発生し、在宅避難を行うことになったとして、自宅で安心・安全に過ごす自信はあるか?」の問いに「自信がある」と回答したのはわずか30.3%です。基本的な生活が送れることによる、心理的、身体的、感情的な健康を維持し続けること。今のように、人々が大きなストレスを感じている非常事態においては、日頃以上に重要な事だと思います。

このようなコロナ禍ではありますが、皆さんと皆さんの大切なご家族やご友人の、ますますのご発展とご健康をお祈りしております。

また、本年も変わらぬご愛顧とご指導を賜りたく引き続きよろしくお願い申し上げます。